

## 「第2次豊橋市地球温暖化対策地域推進計画改訂版(素案)」についての意見募集結果

### 1. パブリックコメントの概要

- (1) 意見募集期間：令和8年2月2日(月)から令和8年3月4日(水)
- (2) 意見提出者数：2人（ホームページ2人）
- (3) 意見件数：2件

### 2. 意見の概要と市の考え方

寄せられた意見の概要及び意見に対する市の考え方は次のとおりです。

No.	頁	意見の内容	意見に対する市の見解
1	29   30	<p>農業分野のクリーン技術の導入でヒートポンプが入っていますが、温室の暖房用としてのヒートポンプ活用は、昨今の電力量単価の上昇によってヒートポンプによるコスト削減効果は乏しく、投資回収年数が長大化する傾向にあります。そのためいたずらな普及促進は農家に投資による経営の圧迫を引き起こしかねません。</p> <p>脱炭素化を推進するならボイラの高効率化、ガス化を推進した方が費用対効果に優れています。</p> <p>官民連携による中小企業への脱炭素経営の支援について</p> <p>愛知県実施の省エネ補助金について、神奈川県などの先進事例では補助金の申請要件として外部の省エネ診断を義務付けています。これによって効果の高い設備導入への誘導・ふるい分けが可能です。</p> <p>省エネ診断は省エネセンターの最適化診断がメジャーですが、診断は有料となっており、零細企業の受診へのハードルとなっています。無償省エネ診断を市として実施するか、診断の実費を補助する等の政策が有効です。</p> <p>まずは事業者エネルギー消費傾向を知っていただき、運用改善による削減を優先させるべきと考えます。</p>	<p>今後、計画を推進していく上での参考にさせていただきます。</p>

No.	頁	意見の内容	意見に対する市の見解
2	-	<p>ヒートアイランド現象への切り札として、地中熱ヒートポンプの導入があり、ぜひ本案に盛り込んで頂きたいと思います。</p> <p>現在豊橋公園で行われている工事は、「既存樹木の大量伐採」「室内運動施設等からの排熱によるヒートアイランド現象」「生物多様性の消失」「児童遊園内への駐車場・ロータリーの建設」等、多くの問題が指摘されています。</p> <p>本案 P. 42 (2) 課題に「市街地の緑地は、市民生活の安らぎや、生物多様性の保全だけでなく、気温の上昇を抑え夏季の冷房負荷を軽減する効果もあり、適切に保全・拡大していく必要があります」とあり、(3) 基本目標の推進に向けた施策には、「市街地においては、生活に安らぎを与え気温上昇緩和機能を有する、都市公園の整備や道路の緑化、公共施設をはじめとした屋上・壁面緑化など市街地の緑化を進める」とあります。</p> <p>また、第3次豊橋市環境基本計画 P. 32 にも、「生物多様性の保全を推進することにより、次世代への自然資源の継承と温室効果ガスの吸収源対策につながる」「地域の自然資源を観光資源として活用することで、経済効果につながる」「市民が散策したくなるよう身近な自然環境を守り育てることにより、多様な世代の健康増進につながる」とありますが、豊橋公園においては、全く矛盾した基本計画が通ろうとしています。</p> <p>歩車分離信号交差点からアリーナ南側へと続く並木道は、豊橋公園全体の中で最も景観が良く、一步踏み入れると高原のような爽やかな空気が感じられる場所でもあります。伐採せず生かせば、既存樹による木陰のある憩い空間での出迎えは、造成地に作られた他のアリーナとは一線を画した印象を来場者に与え、観光や若い世代の移住にもつながると思います。歩行者の導線を、景観を損なうロータリーや駐車場等で分断・迂回させることなくスムーズに結ぶことにもなります。</p> <p>豊橋の巨木・名木 100 選の貝塚伊吹は、駐車場を武道館跡地付近に移動することで保全できますが、シノブは、市民プールからの湿気もなく、周辺樹木も伐採されてしまい、環境の悪化を補う対策が必要です。近くに噴水やビオトープなどを設けることで、湿気を補う工夫をはいかがでしょうか。保存樹木をつなぐ帯状に、足にやさしい散歩道として土や草地を残し、樹木、セミやトンボ、蝶、コオロギなどの虫や野鳥などの生態系の破壊を少しでも軽減する配慮も必要でしょう。弓道場周辺も、鶯や昔の神社を偲ばせる木々など豊かな自然が感じられる場所であり、ぜひ保全する様お願い申し上げます。</p> <p>これ以上公園の樹木を伐採せず、地中熱ヒートポンプの導入や屋上・壁面緑化で温暖化対策を進め、雨水貯留槽の設置も推進するなど、せつかくの素晴らしい温暖化対策計画を実効性のあるものにして下さい。</p>	<p>参考意見として受け止めさせていただきます。</p>